



ながとしょうがっこうとしょしつ 長戸小学校図書室だより

No.1 平成26年4月18日



よ ひと よ ほん 読む人も読まれる本もうれしいね

新学期が始まって2週間、みなさん新しい教室にはもうなれましたか？今年も図書室オリエンテーションも全学年が終わり、1年生も本をかり始めています。

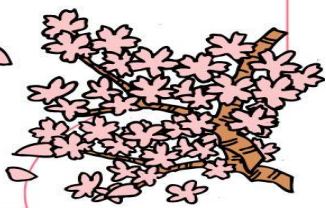
去年度は**一年間で5853さつ、一人当たり105さつ**

本の貸出がありました。たくさんかりましたね。

みなさんは読んだ本がおもしろかったら「楽しいな、うれしいな」と感じますよね。同じように図書室で本を準備している関口先生も「楽しんでもらえてうれしいな」と感じます。それだけでなく読んでもらった本も「よかったな、うれしいな」と感じていると思います。長戸小の図書室にはたくさん本があります。どの本もみなさんに読んでもらえるのをまっています。図書室でたくさん本となかよくなってください。

としょしつのやくそく

- ・ **本にやさしく、本となかよくします。** きれいな手でやさしくさわりましょう。やぶいたり、よごしたり、なくしたりしないようにしましょう。
- ・ **しずかに読みます。** 図書室ではさわいだり、走ったりしないでください。
- ・ **1かいに2さつ、1しゅうかんかりられます。** かならず先生や当番さんにパソコンで「ピツ」としてもらってから持っていったり返したりしましょう。
- ・ **読書の記録**をつけましょう。



ながとしょうとしょしつ ねんめ
長戸小図書室も4年目になりました。
た。ししょ せきぐちまきこ こんねんど
司書の関口牧子です。今年度も
よろしくおねがいします。



いつもいっしょ、本といっしょ。
2014・第56回こどもの読書週間
4/23～5/12



子どもたちにもっと本を！との願いのもと「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)にはじまりました。もともとは5月5日のこどもの日を中心とした2週間でしたが2000年から今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)から5月12日になりました。小さいときに本を読む楽しさを知ることは、大人になるためにとても大切なことです。今年のこどもの読書週間のテーマは「いつもいっしょ、本といっしょ。」です。長戸小学校でもこの期間は読書月間です。本といっしょに楽しい時間をすごしましょう。

うちどく しませんか

(お家の方へ)



「うちどく(家読)」とは、文字通り家で本を読むことです。ただ読むだけでなく、家族みんなで同じ本を読んで、読んだ本について話をするのです。家族そろって読書をする時間がなくても、それぞれが読んで食事の時間などに感想を話しあうことで、家族全員で1冊の本を楽しむことができます。家族で読書の習慣を共有化し、読書を通じて家族のコミュニケーションを図りましょう。互いに本をすすめあったり、一緒に図書館や書店に行って本を選んだりすることでもコミュニケーションが深まります。またニュースや新聞で、全国学力調査の分析から「子どもの学力を伸ばすのに特に影響力が強いのは『本や新聞を読むことに関する行動』という結果が出されたことが取り上げられています。こども読書の日のテーマも「いっしょに読むって楽しいね」です。もうすぐ春の連休が始まります。お休みに家族で「家読」に取り組みませんか。